

## 走った場所：久喜市

和太鼓奏者・書道家

**塚本 鷹** さん  
YO TSUKAMOTO

和太鼓奏者・書道家として活動しています。和太鼓と書道という日本の伝統文化は、日本がこの先、後世に伝えていかなくてはならない宝です。自分が走ることで、みんなに勇気と笑顔をし、感動を届け、日本が世界に誇れる伝統文化というバトンを後世に、世界につなげていきたいと思いました。

三芳町の聖火リレーでは和太鼓の応援演奏をし、とにかくオリンピックが無事に開催され、沢山の人の心に勇気と笑顔が届けられるようにと全身全霊で打ち込みました。リレー当日は本当に楽しく、あっという間の200mでした。トーチに聖火が灯ったときは、沢山の想いもそこに乗りトーチ以上の重さと重圧を感じました。

しかしそれ以上にこれで希望を届けたい、笑顔になってもらいたいという想いで走り切ることができました。

いろいろな意見がありますが、4年に一度しかない祭典が日本で開催すると決まり、このような状況だからこそ開催し、届けられる想いがあるのだと思います。

その聖火が三芳町をつないだことは凄いいことだし、それこそこの先の未来へとつないでいかなければいけないと感じています。僕も応援演奏・聖火ランナーの経験を新たな力に変え、より一層芸道に精進し、一人でも多くの方を幸せに出来るようにと活動していきます。

一人でも多くの方が開催できてよかった、と思えるオリンピックになることを願っています。



Photo by Tokyo 2020

## 走った場所：さいたま市

藤久保中学校 2年生

**佐藤 美心** さん  
MIMI SATO

私は特に部活動（陸上部）に力を入れて取り組んでいます。今度200mで2回目の県大会出場が決まり、少しでも良い記録が残せるよう日々練習に励んでいます。

私の先祖は島田伴完という人で、その自宅が旧島田家住宅として町の指定文化財になっています。祖父母はこの町で農家を守り続けていて、長い歴史を通じて頑張っている祖父母を誇りに思っています。私が聖火ランナーに応募したのは、そんな頑張っている二人に代わり、三芳町の歴史を未来につなげていきたいと思ったからです。そのため選ばれた時はうれしすぎて祖父母にすぐ報告をしました。

公道走行が中止になったのは残念でしたが、いざ会場に着くと聖火を持てる喜びで胸がいっぱいになり、また私の走る姿が少しでもみんなの元気や希望につながり、前向きになってほしいと思いました。緊張することはなく、とても楽しくグループランナーのみなさんと走ることができました。

「brave = 挑戦」は私が大切にしている言葉です。聖火ランナーも一つの挑戦だったので、今とても達成感でいっぱいです。これからまた新たな挑戦を探したいと思います。

聖火はギリシャから何人もの人が同じ炎に様々な想いを込めてつなげてきました。そんな意義のある炎を通してみなさんの心に何か響くものがあったらうれしいです。私が聖火ランナーとして役目を果たせたのは、私に関わるすべての人のおかげだと思っています。ありがとうございます。



Photo by Tokyo 2020

## 走った場所：春日部市

デフフットサル W 杯日本代表

**酒井 藍莉** さん  
AIRI SAKAI

私は聴覚障害を持っていて、現在、ケイアイスターアスリートチャレンジドチームに所属し、デフフットサル、デフサッカーの日本代表選手として活動しています。そしてデフフットサル、デフサッカーの普及、知名度を上げること、障害を持っていても乗り越えられる壁はあるということを知ってもらいたいと思い、聖火ランナーに立候補しました。

選ばれた時は「本当に、？」ただその一言しかありませんでした。でもすごく嬉しかったです。

本番を迎え、自分の出番が来た時には今までにない緊張感を感じました。たくさん世界の舞台を経験してきましたが、これが今までで1番でした。

リレーは手話ができる妹が私の手話通訳者をしてくれて、一緒に走ることができました。姉妹でこういう一生に一度しかないいい機会と一緒に走れること、そして親孝行にもなると思うとても嬉しかったです。

思ったよりたくさんの方々が来てくれて、知り合いからも多くのコメントが来ていたので、本当に走ることができて良かったです。

この機会にデフフットサルやサッカーのことをたくさん知ってもらい、そしてデフスポーツ自体もバスケやバレーなどの色々な競技があり、デフオリンピックというオリンピックと同じデフだけの大会もあることを知ってもらえたらなと思います。

これからまだまだ頑張りますので、今後とも応援よろしくをお願いします！



## 走った場所：三芳町

和光国際高校 1年生

**三木 峻翔** さん  
SYUNTO MIKI

普段は、学校で勉強と部活、どちらも頑張っています。陸上競技部で、部活がある日はいつも楽しみですが、復習しないとおいでいられるので勉強も家でも怠らずにやっています。三芳町はすごくほのぼのとしていて、とても居心地がよく、いつも友達と行くみよしまつりがとても楽しみでした。去年は中止になってしまったので、次のみよしまつりは絶対行きたいです！

聖火ランナーは、中学生のとき校長先生に勧められたのがきっかけで、「こんな貴重な経験ができるなんて…絶対やりたい！」と思い応募しました。選ばれたときは、びっくりしましたが、ほんとに嬉しかったです。オリンピックの延期が決まった時はやはり思いつてもショックで、何より藤中生として走ることができなかったのが悔しかったです。

聖火リレー当日は思っていた以上に見に来てくれた人が多くて、走る前はとても緊張しましたが、いざ走るとみんなが応援してくれたので緊張よりも楽しい、嬉しいといった気持ちの方が強かったです。

そしていつもの通り道が全く違って見えました。和太鼓の演奏やボランティアの方々のおかげでとても楽しく走ることができたし、カッコいい走りをみんなに見せられて良かったです。でも200mは短かったので、もう少し長い距離を走りたいかったです。今回三芳町で走れたことはほんとに嬉しいし、これからもこの町をどんどん盛り上げていきたいです。



Photo by Tokyo 2020

# 聖火をつないだ ランナーたちの想い

令和3年7月6日(火)、12人の聖火ランナーがトーチを掲げ、三芳町、富士見市、ふじみ野市を走り、古代オリンピックの聖地であるギリシャからの灯火のリレーをつなぎました。今回の聖火リレーでは、三芳町以外の街を走った三芳町に住む聖火ランナーもいることをご存知でしたか？今回お話を聞くことができた町民聖火ランナーの皆さんをご紹介します。

